

平成 28 年度職員採用試験（大学卒業程度）
総合土木 専門記述試験（28. 6. 26）

次の 3 つの課題のうち、いずれか 1 つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○道路整備により得られる効果について

広島県では、県の総合計画である「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す広島県の将来像を実現するため、社会資本マネジメントの基本方針として、いる「社会資本未来プラン」の道路分野の整備計画として、「広島県道路整備計画 2016」を策定しています。

この整備計画では、県境を越える井桁状高速道路ネットワークの強みを最大限活用する道路整備を推進し、広島県の将来像を実現するため、次の 7 つの施策を展開することとしています。

そこで、次のうち 3 つを選択し、それぞれについて、その施策の実施によりどのような効果が得られるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

- ① 広域的な交流・連携基盤の強化
- ② 集客・交流機能の強化
- ③ 災害に強い道路ネットワークの構築
- ④ 総合的な交通安全対策の推進
- ⑤ 持続可能なまちづくりに資する道路整備
- ⑥ 道路機能の有効活用
- ⑦ 道路施設の適正な維持管理

＝ 課 題 2 ＝

○農業体質強化のための農業農村整備について

平成 27 年 10 月の環太平洋経済連携協定（TPP）の大筋合意により，農業分野では将来的な関税撤廃を踏まえ，経営感覚に優れた農業者による，国際競争力を備えた力強い農業への体質強化が求められています。

また，米（コメ）政策の見直しにより，これまで米農家に支払われていた米の直接支払交付金の平成 30 年度からの廃止が決定するなど，農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。

そこで，あなたは A 県の事業担当者として現状分析を行い，A 県が抱える課題を 2 つ挙げるとともに，農業農村整備（基盤整備）の観点から取るべき対策を述べなさい。

（A 県の現状）

- ・ 農家の平均経営耕地面積は 1.0ha（全国平均 2.5ha）
- ・ 農業就業人口のうち 65 歳以上の比率は 77%（全国平均 63%）
- ・ 農家の平均農業所得は年間 30 万円（全国平均 100 万円）
- ・ 全農地 50,000ha のうち，担い手農家への集積面積 10,000ha
- ・ 全農地 50,000ha のうち，耕作放棄地 10,500ha（耕作放棄率 全国第 3 位）
- ・ 品目別生産額割合；水稲 70%，野菜 15%，花き 5%，その他 10%
- ・ 農業用水の水源；ため池 75%，河川・頭首工 15%，天水・渓流水 10%

＝ 課 題 3 ＝

○豪雨災害に対する防災・減災のあり方について

近年、異常気象による局地的豪雨や台風の大型化等により、全国各地で洪水被害が発生しています。特に、平成27年9月の関東・東北豪雨災害では、河川の流下能力を上回る洪水により、家屋倒壊や、広範囲かつ長期間の浸水が発生するとともに、住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほど多数の孤立者が発生する事態となりました。

このため、ハード面で災害発生を抑えることと同時に、ソフト面の対策で被害を最小限に抑えることも重要となってきています。

これらを踏まえ、今後の豪雨災害に対する防災・減災のあり方について、ハード対策、ソフト対策それぞれについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。